

サイエントロジーと イスラム

その類似性の研究



ハジ・ムハンマド・アル・カーイム・澤田 沙葉
日本 アフルル・バイト・センター代表

1996年4月4日

サイエントロジーと イスラム その類似性の研究



ハジ・ムハンマド・アル・カーイム・澤田 沙葉
日本 アフルル・バイト・センター代表

サイエントロジーとイスラム
その類似性の研究

目次

はじめに	1
I. すべての宗教を網羅するイスラム 宗教の中の宗教としてのサイエントロジー	3
II. イスラムの意味	5
III. サイエントロジーとイスラム哲学の 観点から見た人間の構成	6
IV. アフルル・バイト - イスラムとサイエントロジーとの関係の探求	8
V. サイエントロジーとイマーム・ザマーン	8
VI. サイエントロジーの実践	9
VII. マハディの出現と サイエントロジーの目指すものとの関係	10
結論	13
著者について	15



1996年4月4日

サイエントロジーと イスラム その類似性の研究

ハジ・ムハンマド・アル・カーイム・澤田 沙葉
日本 アフルル・バイト・センター代表

はじめに

サイエントロジーという言葉は、「言葉の完全な意味において知る」という意味のラテン語 *scio* と、「～の勉強」という意味のギリシャ語 *logos* から来ています。これは単に「知る方法を知る」という意味です。サイエントロジーは知ることには大きな注意を払い、非常に誠実な意味で知ることを目的としています。

イスラムにとって「知識は最高の目的です」。イスラムの預言は知識を尊重します。ハディース (ムハンマドとその仲間に関する言行をまとめた書物) のひとつでこう述べています。「私は知識の都市であり、アリーはこれのための門です」。別のハディースには次のように述べられています。「知識を求めて中国に行くのだ！」当時、中国は世界の果てと見なされていた遠い場所でしたが、これは知識を追求するよう命じられた場所です。イスラムの場合、知識の追求は非常に高い理想です。

このようにイスラムでは、知識に対して最大の敬意を払います。知識を持っている人は、イスラムで *Ulama* (ウラマー) と呼ばれます。ウラマーは知識を意味する *ilm* (イルム) から派生したもので

す。人は、サイエントロジーとイスラムが同じ方向を目指すことができることがわかりました。ですから、共通の側面を持つことができます。

本著者はメッカへの巡礼を2回続けており、イスラム世界のリーダーとして認められています。さらに、本著者は最近、「メッカ」と呼ばれる国際的本部を訪れ、サイエントロジー宗教との、いくつかの類似点に驚いています。

ビデオ「サイエントロジーへの誘い」(1966年に収録されたサイエントロジーの創始者、L. ロンハバードのインタビュー)によると、ハバード氏は十代の多くの時間をアジアで過ごしました。そこで彼はアジアにおける不幸を熟考し、それがなぜ存在したのか疑問に思いました。彼は最初から、人間の起源を研究することに興味を引かれ、それが彼のライフワークとなり、サイエントロジーの誕生へと至ったのです。

ハバード氏は、人には異なる文化、人種などがあるとはいえ、共通項があるに違なく、それを見付けることができれば、人は向上することができるかと最初からわかっていました。そしてハバード氏が発見した共通点は「生存せよ!」でした。

なぜ「生存せよ!」という発見がそれほど重要だったのか? 辞書で「生存する (*survive*)」という言葉調べると、「(他の人や他のものが死んだ後でさえも) 生き続ける、生きている」と定義されます。しかし、これではその用語を完全に説明するのに十分ではありません。ハバード氏が見付けた人間の共通項、これがサイエントロジーの基本原理のひとつになったのです。

同じビデオ・インタビューで、ハバード氏は次の人生についての質問にも答えました。人は死後も生き続けることができ、次の人生があると言っています。したがって、生存という言葉は、この人生に関係するだけでなく、永遠に関係します。

『ダイアネティックスとサイエントロジーの技術用語辞典』で、生存は以下のように説明されています。1. 生存とは、生存しない可能性を受け入れることのできる状態です。もし人が「生存している」ならば、その人が生存するのをやめる可能性があるということを同時に認めています。そうでなければ、人は生存するために奮闘することは決してないでしょう。2. 生存とは、時間を通じて、空間の中で、物質とエネルギーとして存続しようとする衝動と定義できるかもしれません。3. 生存とは、時間や空間、エネルギーや物質を通して基本的な生命の単一の推進力であると理解されます。生存は8つのダイナミックス (または生存せずにはいられない衝動) に分類されます。

これがイスラムにどう当てはまるのでしょうか？「人間は何のために創造され、生きているのか」について、アラビア語の単語、*qiyama*で説明されます。コーランは、必ずしも正しくアラビア語から翻訳されていないかもしれないため、この単語は正しく英語に翻訳されていません。

qiyama (名詞) は *qom* や *qama* に由来しています。この *qom* や *qama* には、奮起する、立ち上がる、振り返る、攻撃する、名誉とともに暮らす、死から起き上げる、逆転する、起きる、離れる、位置する、休息を取る、始める、実施する、支援する、責任を取るなど多くの異なる意味があります。これを心に留め、コーランにおける *qiyama* の意味と、サイエントロジーにおける *survival* (生存せよ) は、全体的な概念としては同じものであると言えるでしょう。

どちらの哲学であれ、人間は生存しようとしていることと、人間は自分の周りの宇宙の中で生存するために最善を尽くしているという事実に対して異論はありません。

1.すべての宗教を網羅するイスラム 宗教の中の宗教としてのサイエントロジー

イスラムはムハンマドによって創設されました。(平和は彼と彼の子孫にある) イスラム教徒が神の言葉として完全に信じているコーランによると、人はそこに書かれている真実が、イスラム世界の創造の前に、この宇宙に存在していたことを見付けて驚くことでしょう。アダム以来のすべての使者と神の預言者が「イスラム」を伝えてきました。イスラム預言者の口頭伝承によると、神の使者の数は313になると言われ、預言者の数は12万4,000人になると言われています。

これらの神の使者と預言者は、すべての地域や部族、人種へと送られ、彼らはそれぞれの言語で同じ真実を広めて行くことが明らかにされました。コーランの第2章、136節で、こう述べられています。「そう！私たちは神と明らかにされたものを信じます。私たちは、モーゼとイエスに告げられたこと、神からすべての預言者に告げられたことだけでなく、アブラハム、イシュマエル、イサク、ヤコブとその部族に明らかにされたことを信じます。私たちはそれらのいずれかの間に決して差別を生み出すことはありません。私たちはイスラム教徒です。」ここに、「決して差別を生み出すことはない」ことを意味するアラビア語 *faraq* が出てきます。この単語は「分離する、分割する、切り裂く、識別すること」も意味します。したがって、コーランは、他の宗教に対して差別するだけでなく、そうするために隔離しない、またはそれらを決して切断することはしないことも意味します。これはユダヤ人、キリスト教徒、ヒンズー教徒、仏教徒、神道の寛容さを意味するだけでなく、それは調和の取れた点であり、それらすべてを保持することを意味します。それはイスラムの世界が教えるものです。したがって、イスラム教徒がイスラムについて話すとしたら、彼の理

解の範囲では当然キリスト教、仏教、ヒンズー教、神道や他の宗教が含まれるでしょう。これがムハンマドの預言によって明らかにされた、オリジナルのイスラムです。

比較として、ハバード氏はサイエントロジーについて、宗教の中の宗教であると説明します。これは、「サイエントロジーへの誘い」というビデオに概説されています。そこで聞き手は、ハバード氏にローマ・カトリック教会や聖公会の信徒がサイエントロジーのメンバーになることができるのかと尋ねます。ハバード氏はそうなることができると答え、さらにサイエントロジーが宗教の中の宗教だと説明しました。

イスラムの伝統に大きな類似性があることについて、ハバード氏は1955年6月3日に行われた「人間の希望」という講演においても述べています。

過去の偉大な精神的指導者を称えたいと思います。現代ではなく、過去のです。というのも、そういった人たちは、人間には精神的な側面があるという事実を人々に気付かせるのに十分な伝統を受け継いできたからです。この偉大な精神的指導者たちは絞首刑にされ、罵(ののし)られ、誤解され、ひどく変えられて引用され、少しも理解されなかったのです。しかし、それでも、彼らは何世紀にもわたって松明(たいまつ)を先へと送り続けてきた人たちです。その結果、私たちは遂に、人間のより偉大な能力と、その将来への何らかの希望を達成することができたのです。…

そして、それを伝えた人たちのひとりが、モーゼという名の男でした。そして、さらにそれは、キリストという名の男に伝えられました。そして、彼はそれを伝え、アラブ諸国でさえ、彼らの預言者、ムハンマドを通してこの恩恵を受けたのです。

『しあわせへの道』という小冊子でハバード氏はこのように述べています。

寛容な態度は、人間関係を築く上での優れた基礎になります。現代までの人類の歴史を通して、宗教に対する不寛容な態度が原因で引き起こされた虐殺や苦しみを見れば、不寛容な態度というものがとても非生存的な活動であることがわかるでしょう。

宗教に対する寛容な態度が意味するところは、自分の信仰について表現できないということではありません。それが意味しているのは、ほかの人の宗教的な信念や信仰心をひそかに傷つけようとしたり、攻撃しようとしたりすることが、常にトラブルへの近道であった、ということです。

「サイエントロジー教会の信条」において、ハバード氏は以下のように述べています。

この教会の私たちは信じます。

すべての人間は、いかなる民族、肌の色、信条であろうと、平等な権利を与えられて創造されたこと、

すべての人間は、自分自身の宗教的な実践および執行に関する、侵すべからざる権利を持っていること…

すべての人間は、自分自身の組織、教会、政府を、創造したり、選択したり、援助したり、支持したりすることに関する、侵すべからざる権利を持っていること。

この点に関して、L. ロン ハバード氏の作品が際立ってイスラムに似ていることがわかります。

II.イスラムの意味

イスラムにおいて、すべての宗教、すべての神の使者と預言者は、イスラムの教えである「コーラン」の啓示に網羅されています。ではイスラムとは何でしょう？

イスラムという単語は、「絶対的に神に従うこと」や、「神に帰依すること」を意味します。それは「平和」という言葉で説明することもできます。*Islam* (イスラム) という単語のアラビア語の語源に戻って調べてみると、イスラムという名詞が、アラビア語の動詞*Salima* (自由になる、逃れる、安全である、安全かつ健全である、間違いない、明確に証明した) から派生していることがわかります。つまり、イスラムとは、自由への道、すべての苦しみから逃れる解放への道、そして安全と健康への道を意味しています。

仏教における「仏教」という言葉の意味は、菩薩 (*Bodhi Sattva*) の状態に入り、精神的な目覚めの状態を達成し、絶対的に従うことを意味します。神道には、随神・惟神 (かむながら・かんながら) という類似した用語があります。これらが、人間の精神的な解放の状態に対する異なった言葉です。

サイエントロジーには、クリアーやOTといった、かつて達成されたことがない精神レベルを示す、似たような用語があります。(OTとは、*Operating Thetan* [機能するセイタン] を意味します。「セイタン」とは、精神的な実体や精神的存在に対するサイエントロジー用語です。)

ハバード氏は、仏教の指導者宛てに2通の手紙を残しました。そこで彼は、サイエントロジーでは2、3年のうちにすべての人たちが菩提の状態を達成できると宣言し、仏教の各宗派の指導者に、2人の若者を送り、サイエントロジーの教義の訓練を受けさせ、それを自分の宗派に持ち帰ることを提案しました。

イスラムは、自由になる道と解放への道を意味します。サイエントロジーでクリアーやOTという精神的な状態を達成するためには、人は「完全なる自由へのブリッジ」と呼ばれるものを勉強し、その学んだものを適用する必要があります。このブリッジは、実際には、自由に到達する過程で行う勉強と適用の道を概説した図表です。精神的な自由の追求という意味では、イスラムとサイエントロジーには多くの共通点があります。

III.サイエントロジーとイスラム哲学の 観点から見た人間の構成

イスラム哲学とサイエントロジー哲学はともに、人間が精神および心と身体で構成されていることに同意しています。

アッラーマ・サイイド・ムハンマド・フセイン・タバタバイは、最高のイスラムの位置を次のように説明しています。

イスラム科学にある程度精通している人々は、聖書と預言者の伝統の教えの中に、精神と肉体、または魂と身体に関する多くの参照文献があることを知っています。身体と有形なものや、感覚を通して知ることができることについて思い描くのは比較的容易ですが、精神と魂を思い描くことは難しく複雑です。

神学者や哲学者のような知的な議論を行う人々はシーア派やスンナ派も同様に、精神の現実性について異なる見解を提起しました。にもかかわらず、ある程度確実なのは、イスラムは精神と身体が互いに対立したふたつの現実性であると見なしていることです。死によって身体は生命の特性を失うと徐々に崩壊しますが、精神はそうではありません。むしろ、生命はその起源と原理において精神に属します。精神が身体に宿ると、身体もそこから生命を得て、そしてその精神

が身体から離れると、それが死と呼ばれます。身体は機能しなくなり、精神は生き続けます。

ハバード氏は『サイエントロジー：思考の原理』という書籍で、人間の構成要素について以下のように説明しています。

人は3つの要素に分けることができます。

第1は精神であり、サイエントロジーではこれを「セイタン (THETAN)」と呼びます。

第2の部分は、「心 (MIND)」です。

第3の部分は、「身体 (BODY)」です。

彼は続けて、

これら3つの人間の構成要素 (セイタン、心、身体) は、それぞれが異なる研究対象ですが、これらははっきりと、また絶えず互いに影響し合っています。これら3つの中で一番上位に来るのがセイタンです。なぜなら、セイタンなしでは心もありませんし、身体に生気を与えるものもないからです。一方、身体や心がなくてもセイタンには依然として生気や生命があります。

セイタンこそがその人です。あなたは、身体の中にいるあなた自身なのです。

サイエントロジーの視点から、セイタンは不滅なので、死後もセイタンとして生きています。これは、精神に関するイスラムの信念と一致していることを見て取ることができます。

サイエントロジーの前段階の研究が、ダイアネティックスです。これは、心の研究として最初に紹介されたものですが、その後この研究が発展するにつれて、「魂が肉体に対して行っていること」の研究として再定義されました。サイエントロジーは、さらに「精神それ自体、さまざまな宇宙、他の生命との関わり合いにおける精神の研究、およびその対処」と再定義されます。

その類似性はハバード氏のこの言及によってさらに強調されます。「しかし、研究が進むにつれ、生命の上位の活動とはセイタンの活動であり、精神がなくては、生命はそれ以上存在しないということがますます明らかになってきました。」

したがって、人は生や死と同様に、精神、魂、身体と呼ばれるものがわかれば、イスラムとサイエントロジーの哲学の両方について、より同意することができます。

IV. アフルル・バイト - イスラムとサイエントロジーとの関係の探求

イスラムとサイエントロジーが両立し、同調するかを理解するために、*Ahlul-Bait* (アフルル・バイト)を知ることは役に立ちます。この用語は発音上、*Ahlul-Bait*と綴られますが、実際には*Ahl al-Bait*です。*Ahl*は家族、*al-Bait*は神の家を意味します。したがって、*Ahlul-Bait*とは、「神の家の家族」を意味しますが、一般的には、「預言者の家庭の家族」と考えられます。

コーランはイスラム教徒たちに、以前の預言と知識は実際にイスラム思想の一部であり、イスラム研究のための場所でもあることを受け入れるよう奨励しますが、ある程度サイエントロジーもそうです。L. ロン ハバードは同様にこう述べています。「サイエントロジーにおける現象は発見されたものであり、全人類と全生命体が共通して持っているものです。」彼はまた、サイエントロジーが目指すものを説明する際にもこのように述べています。「人々が思索し、5万年かけて集めてきた真実が、人類に関する新たな発見によって洗練、展開され、この成功に寄与しました。」明らかにサイエントロジーとイスラムの教えは、哲学と科学(この両宗教は、哲学と科学の両方を持っていることを公言している。というのも、それらは、これらの用語の最も広い、最も完全な意味において宗教であり、それらの哲学と科学は証明可能だからである)は、自分たちの支持者たちだけでなく、すべての生命とこの宇宙およびその圏外との相互作用にも当てはまることを理解しています。この観点から、両宗教は、彼らが人類という家族の一員であり、人類とは彼らの生命および宇宙に関する知識を通じて助けられるものであると考えています。

サイエントロジーとイスラム宗教の両方にある非常に基本的な側面は、両者が人間は本来善であると信じていることです。これは、人が原罪から構成されることを前提としているキリスト教とは大いに異なります。このような基本的な理解により、サイエントロジーとイスラム宗教のメンバーが互いに理解することができないとしたら、それは本著者としては非常に驚くべきことです。

V. サイエントロジーとイマーム・ザマーン

シーア派には、重要なハディース(口頭伝承を意味する)を残した、ムハンマドの預言があります。「私は重要なものを残す。コーランは神の書であり、私のアフルル・バイト(神の家の家族)であり、あなたはそれらを切り離すことはできないだろう。」もうひとつのハディースには別の預言

があり、各コーランの詩には7つの意味があり、それらの意味は、預言者の親戚のアリーによって、イマーム（導師）に手渡され、それを次のイマームが引き継ぎました。イマームは、シーア派の教えによると、イスラムのすべての精神的指導者です。コーランの詩のこれら7つの異なる意味は、明白なこともあれば、隠されることもあります。現在の精神的指導者であるイマーム・ザマーンは、「隠れた」または「不在」を意味する *Ghaib* という状態です。このイマーム・ザマーンは、誰も通常の知覚を通じて彼を見たり、聞いたり、触れることができない状態になっているので、不在のように見えます。しかし、彼は実際には「不在」なのではなく、むしろ厳然と存在しています。これはイスラムの偉大で神秘的な部分ですが、サイエントロジーの技術の適用を通してそのような状態に容易に到達し、イマーム・ザマーンを経験することも可能です。Al-Hamd Li' Llah (神に感謝します)！

VI.サイエントロジーの実践

コーランは、信条や信仰だけのものではありません。より良い人生を送ることを重視するために、サイエントロジーに似た実践もあります。明らかに、個々の教会の儀式の慣行があり、サイエントロジー宗教は明らかにイスラム宗教ではないので、同じではありません。しかし、両方の哲学には、教義や仕事があり、人が自分の教会やモスクの外でより良い人生を送るのを助けるように設計されています。これらにはメンバーが従うことで、益を受けることができる行動の道徳律や倫理律が含まれています。どちらにも独自のジャスティスの規律があります。

似た道徳律の例として、イスラムの信仰におけるアルコール排除の実践を引き合いに出すことができます。一方、サイエントロジーでは、L. ロン ハバードが『しあわせへの道』でアルコールについて、こう記しています。「アルコールをとっている人は注意力が鈍ります。アルコールのせいで、より機敏（きびん）になったとその人たちが思っている時でさえ、反応する能力は鈍くなっています。アルコールには医学的な価値がいくらかあります。しかし、それはひどく過大評価されることがあります。アルコールをとっている人が、あなたの乗る車や飛行機を運転するのを許してはいけません。飲酒が人の命を奪ってしまう例は、ひとつだけではありません。少しのお酒でも大きな影響を与えます。飲みすぎによって、不幸や死という結果に終わらないようにしなさい。人びとにお酒を飲みすぎないように思いとどませましょう。」明らかに、両者のアルコールに関する見解は一致しませんが、多くのサイエントロジストはアルコールを飲まず、イスラム教徒のアルコールのない環境でもくつろげます。

これは単に、両宗教にある程度共通している生活の中での規律の一例ですが、その仲間たちはより良い人生を送っていることが見受けられます。この点でそれらは似ています。

しかし、サイエントロジーの主要な実践は「オーディティング」、つまり人をクリアーそしてOTという精神的な状態にまで高める実践です。もちろん、人がイマーム・ザマーンの持つGhaibの状態に到達できる事実についてサイエントロジーによって書かれた主張はありません。イスラムではそのような精神的状態を達成するために、人は断食したり祈らなければならないと言われていますが、この状態は、サイエントロジストたちによるクリアーやOTと同じとは見なされません。

クリアーの状態、さらにOTの状態は、オーディティングによって達成されます。オーディティングとは、実践によって、「auditor (オーディター：聴く人を意味するラテン語の『audire[聞くこと]』から)」と呼ばれる訓練された人の助けを得て、本当の精神的な存在、あるいは「セイトン (thetan)」と専門用語で呼ばれるものを扱います。セイトンであるその人は、オーディターの何年にも及ぶ根気強い勉強と技能の助けを得て、精神的な存在としての自分を小さくし、精神的な存在としての能力や知覚を下げた時を、その人の記憶の中で見付けることができ、「存在のらせん状悪循環」と呼ばれる状態を逆転させます。最初に記憶が閉塞され、喪失が現れ、精神的なビーイング (またはセイトン) の能力が減少した多くの事柄が見付かります。これはほとんどの人々のケースです。とはいえ、オーディターの助けを借りてオーディティングを受けている人は、すぐに自分の過去を詳しく話すことができ、そうできない場合でも、失われた記憶と精神的な能力を取り戻し、完全なる自由へのブリッジを昇り始めます。このブリッジは、完全なOT (operating thetan：機能しているセイトン) への道にいる人の相対的な位置を示す、「意識とグレードのチャート」として図表でも表されているので、人はより大きな能力に至るこの精神的道筋を旅することができます。セイトンとしてのビーイングは、失われた意識、知覚、能力を取り戻すことができます。完全なる自由へのブリッジには、それぞれのレベルの横に、回復が期待できる能力が明記されています。このブリッジを昇った時の結果は、事前に知られており、完全に予測可能なものです。

本著者は、この高まった知覚と意識によってイマーム・ザマーンの状態に到達できることが期待できます。両方の宗教研究から、本著者は、この状態がサイエントロジーのオーディティングを通して直接到達できることを期待できます。

VII.マハディの出現と サイエントロジーの目指すものとの関係

アッラーマ・サイイド・ムハンマド・フセイン・タバタバイは、マハディについてこう書きました。

したがって、内面の必要性と決意により、将来、人間社会がジャスティス (正義) を十分に備え、誰もが平和で平穏に暮らすことができる時、人間が十分に美德と完璧さを持っている日が訪れる。そのような条件の確立は、神の援助を得て人間

の手によって起こります。そして、そのような社会の指導者は、人間の救済者、ハデースの言葉で「マハディ」と呼ばれます。

ヒンズー教、仏教、ユダヤ教、キリスト教、ゾロアスター教、イスラムのような世界を統治するさまざまな宗教には、人類の救済者として登場する人物の言及があります。これらの宗教は通常、その人物の到来を喜ばしい便りとして伝えました。しかし、これらの教示を慎重に比較すると、当然ながら細かな点でいくらかの違いが見られます。すべてのイスラム教徒が同意する、聖なる預言者によるハデース「マハディが私の子孫である」は、同じ真実について言及しています。

L. ロン ハバード氏はこう書きました。「サイエントロジーのゴールは、人が自分自身の判断で、また仲間とともにより良い人生を送ることができるようにし、より良いゲームをプレーできるようにすることです。」

1965年に、ハバード氏は「サイエントロジーの目指すもの」を書きました。

狂気もなく、犯罪者もなく、戦争もない、そこでは能力のある者が栄え、正直な者が権利を有することができ、人間が自由により高い境地に至ることのできる文明。これがサイエントロジーの目標です。

1950年に初めて動乱の世界に向けて発表されたこれらの目標は、私たちの技術を持ってすれば十分に手の届くところにあります。

政治的な色彩を全く帯びていないサイエントロジーは、いかなる信条、人種や国の人も歓迎します。

私たちは革命を求めています。私たちは、個人や社会のために、存在のより高い状態への進化を求めているだけです。

私たちは、目標を達成しつつあります。

果てしない年月に及ぶ、自分自身、心、宇宙についての無知を経験した後、人類のために大躍進が達成されました。

これは、人類が払ってきた他の努力を超えたのです。

人々が思索し、5万年かけて集めてきた真実が、人類に関する新たな発見によって洗練、展開され、この成功に寄与しました。

サイエントロジーは、あなたを歓迎します。私たちがあなたに唯一期待するのは、私たちの目標を達成し、他の人々を助けるあなたの援助です。あなた自身も助けられてほしいと思います。

サイエントロジーは、今日の地球において最も重要な運動です。

動乱の世界では、この仕事は容易なものではありません。しかし、もしそれが容易なものであったら、私たちがこれを行っている必要はないでしょう。

私たちは人間を尊敬します。また人間は助けるに値すると信じます。私たちはあなたを尊敬し、あなたもまた、人間を助けることができると信じます。

結果としてサイエントロジーは、援助を義務として負っているのではありません。人の機嫌を取らなければならないようなことをしたことはありません。そのようにしていたら、私たちが今行っていることをできるほど聡明ではいられなかったでしょう。

人間は、援助の申し出をすべて疑って掛かります。人間はしばしば裏切られ、信頼は粉々になってしまったのです。人間はあまりに頻繁に人間を信頼し、裏切られてきました。私たちは、間違いを犯すかもしれません。なぜなら、私たちは折れた藁（わら）で世界を築いているからです。しかし、あなたが仲間にいる限り、私たちはあなたの信頼を決して裏切りません。

サイエントロジーでは、太陽は決して沈みません。

そして、あなたやあなたの愛する人たち、また人類に新しい夜明けが訪れますように。

私たちの目標は単純です。たとえ大きなものだとしても。

私たちは成功するでしょうし、地球が回るたびに成功しているのです。

あなたの助けを、私たちは喜んで受け入れます。

私たちの助けは、あなたのものです。

サイエントロジーの将来について、ハバード氏はこう書きました。

サイエントロジーを使って、人間は狂気、犯罪、そして戦争といったものを防ぐことができます。

…この地球の最も重要な競争は、国家間に存在するものではありません。この時点で問題となる唯一の競争は、サイエントロジーと原子爆弾との間で行われている競争なのです。人間の歴史は、著名な権威者たちが語ったように、このどちらかが勝利するか懸かっているのでしょう。

L. ロン ハバードは、決して人間以外の何かのふりをすることはありませんでした。しかし、もし彼の作品が結実すれば、それはマハディの預言を満たすでしょう。他の宗教については、仏教には、弥勒菩薩 (Metteyya) の再臨があります。さらにこの預言は、ブッダの所業を完了させる人の再臨についてです。弥勒菩薩の再臨の時期は、ブッダの死後2500年頃であるとパーリ語で定められました。それは1950年の『ダイアネティックス：心の健康のための現代科学』が発表された時でした。それはハバード氏が彼の詩『アジアの讃歌』を書いたわずか数年後でした。その序文で彼は「私は弥勒菩薩か？」と尋ねています。それ以来、サイエントロジーの運動は、世界中で800万の会員に達し、増大し続けています。それは学校、薬物リハビリ・プログラム、犯罪者更生プログラム、そして狂気の源の排除の世界規模のネットワークを確立しました。それはさらに、人々の能力、意識、知能を絶え間なく高めており、ハバード氏が投げ掛けた課題を引き受けています。

ハバード氏が1986年に自身の身体を離れて以来、彼とサイエントロジー・オーガニゼーションは、世界中の政府や組織、個人から何万もの声明や賞状、表彰を受けました。

結論

イスラムとサイエントロジーにはいくつかの類似点があります。知識と知恵の追求が何よりも優先されます。いずれも、人間を向上させ、自由にすることを望んでいます。いずれも、他の宗教や宗派間の信仰の実践を深く尊重します。いずれも、それらについてメディアで露骨に偽りの情報を流され、不当に悩まされてきました。いずれも、これに立ち向かい繁栄してきました。しかし本著者は、「人間は助けを受けることができる」という信条によって、これらふたつの宗教を研究するに至り、そしてこの両宗教が人類にだけでなく、互いにも多くのものをもたらしてくれると信じています。

ハジ・ムハンマド・アル・カーイム・澤田 沙葉

1996年4月4日

日本

著者について

ハジ・ムハンマド・アル・カーイム・澤田 沙葉氏は、半世紀にわたって東洋と西洋の宗教を研究してきました。またメッカへの巡礼を3回完遂され、ハジというイスラムで崇拜される称号を授与されました。日本アフルル・バイト・センター代表でもあります。

彼はコーランを日本語で出版するために翻訳しました。

